

当麻大会開催に向けて、今後の活動の方向性について

旭川地区バスケットボール協会
U12部会理事長 笠原 武彦

U12部会において常任理事会を開き、当麻大会の開催および今後の活動の方向性について話し合いました。決定事項につきまして、指導者・育成会・選手の皆さんにお伝えします。

1 当麻大会開催に向けて、ご協力とご理解をお願いいたします

旭川市と上川管内のコロナの感染状況や学校状況を踏まえ、春季大会を苦渋の決断で中止としました。その理由の一つとして今後、運動会や修学旅行などの学校行事を控えており、学校に迷惑をかけたくない、そして選手や育成会、指導者など全員の健康と安全を第一に考えていきたいためでした。現在もこの思いに変わりありません。

よって今後の活動の方向性として、当麻大会が終わるまでは、合宿や練習試合、ECリーグは行わないという方向で進めていくことをU12部会として決断しました。

その指針となるものの一つに、道協会からの4/16付の通達（まん延防止等重点措置解除後の「再拡大防止対策期間について」）の中で、【当面の間、これまで通り学校が独自に行う他校との練習試合や合宿等は行わないこととします。】と書かれていることを踏まえています。

GW中に他のカテゴリーでは、練習試合を実施するところもあったようですが、これは部活動と少年団活動による違いによるもので、部活動は所属長等の判断のもと実施されています。

また、練習試合などを行わない理由がもう一つあります。それは、少年団活動の中で感染拡大を防止し、確実に当麻大会を開催するためです。今年度は、全道サマーフェスティバル（夏の全道大会）も旭川での開催が予定されています。

当麻大会や全道サマーフェスティバル旭川大会の開催をすることで、これまでたくさんの我慢を強いられてきた選手たちのために、少しでも多くの試合経験をする場やチャンスを選挙たちに与えたいとも考えています。ですから、部会としては何としても当麻大会を行う方向で進めていきたいと決断しました。（もちろん、感染状況や学校状況を踏まえながらの運営となることには変わりありません。）

そのためには、これまで通り各チームのご協力なしでは進められません。練習試合などなしで大会に向かうことに少なからず不安はあるかと思いますが、勝利至上主義とかではなくバスケの試合ができる楽しさや喜びを得ることを第一に、大会開催につなげていけたらと考えています。

また、練習内容については各チームに委ねますが、大会参加を一番に考え、感染リスクの少ない方法を選択するなどして活動していただければ幸いです。

以上のことを部会として、各チームの皆様をお願いしたいと思います。

2 春季大会の参加料について

春季大会の参加料は、そのまま当麻大会にスライドしたいと思います。しかし、まだ当麻大会の予算が立っておらず、もしかすると追加徴収や若干の返金となることもあります。

3 DC事業の選手選出について

春季大会中止のため予定していたDCの選手選出ができませんでした。そのことについて技術委員会から別紙で文書が出ています。ご確認ください。

*当麻大会の詳細や開催要項についても、後日お知らせさせていただきます。

*お問い合わせについて（何かありましたら、旭川地区U12部会GL小坂まで聞いてください。）

Mail: ambba.jimukyoku@gmail.com（当麻小学校 84-2020）